

T/F
30-38

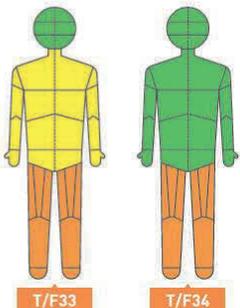
T
71-72

脳原性まひクラス

筋緊張亢進／運動失調／アテトーゼ

T/F30~34

車いすor投てき台



クラス	クラス説明
T30	脳血管障害による片まひのある車いす使用者で、片手・片足で車いすを操作するもの(国際大会のクラスに該当しない)。
T/F31	両手・両足に重度な痙性まひのある車いす使用者。車いすは足で操作可能なことがある。移動時は介助を受けているか、電動車いすを使用している。
T/F32	両手・両足に中等度から重度な痙性まひまたはアテトーゼ(不随意運動)のある車いす使用者。手の機能に中等度から重度の障がいがある。
T/F33	両手・両足に中等度の痙性まひのある車いす使用者。両手の動きにやや制限はあるが車いす操作は可能である。体をすばやく前後に動かすことが難しい。手を握ったり、離したりする動作に制限を認める。競技中に片手で車いすを操作するものも含まれる。
T/F34	両足に中等度から重度の痙性まひのある車いす使用者。両手や体の機能は、ほぼ正常である。

【競技方法やみどころ】

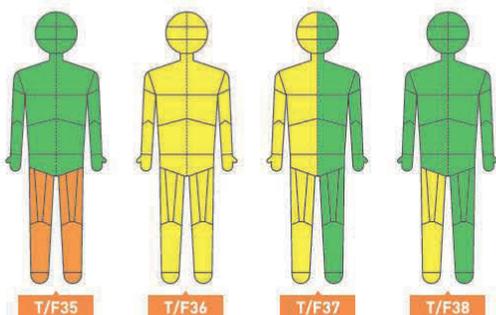
トラック種目は、「レーサー」と呼ばれる、3輪の競技用車いすで競技します。カーボン繊維強化プラスチックやチタン製で軽く、スピードを出しやすい構造になっています(詳細はP17へ)。レースは勝負どころでの一気のスパートで勝敗が決まることも多く、各選手の駆け引きもみどころです。



フィールド種目は、投てき専用が開発された投てき台を使い、台に身体をベルトで固定して競技します。ルールの範囲内なら、自分の身体に合わせて、台をカスタマイズできます。上半身だけで遠くに投げる、身体の使い方に注目です。

T/F35~38

立位



クラス	クラス説明
T/F35	両足に中等度の痙性まひのある立位競技者。手に軽度から中等度の制限があることがある。
T/F36	中等度のアテトーゼ(不随意運動)が失調性のまひのある歩行または走行が可能な立位競技者。
T/F37	片まひで歩行または走行が可能な立位競技者。
T/F38	両手・両足のどこかに最小の障がい基準に定められている障がいのある立位競技者。

【競技方法やみどころ】

トラック種目もフィールド種目も、一般的な陸上競技ルールに準じ、立って競技を行います。



T71-72

フレームランニング

T71	協調運動障害を四肢または三肢に著明に認め、フレームランナーを使用して競技する。
T72	協調運動障害を認め、フレームランニング出場のための最小の障害基準に該当する競技者。



ペトラ フレームランナー